# 移住交流人口増加と防災対策

## 遊休地の活用で定着人口増と新たな防災システム

## トレーラーハウスの活用

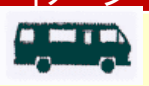
H２８年０９月２７日

一般社団法人

日本RV輸入協会

代表取理事　原 田　英 世

# RVのタイプ分類および定義

| | 分類 | 商品名 | 定　義 | イメージ |
|---|---|---|---|---|
| 自走式RV | モーターホーム | クラスA | 特別に設計されたキャンピングカー専用ストリップシャーシの上に製造されたもの。 |  |
| | レクリエーションやキャンピング、旅行での活用を主目的として、長期滞在が可能な設備を有し、コーチビルダーによって自走式シャーシの上に製造された車両で、日本国内での自動車分類上「8ナンバー」にあたるもの。 | クラスC | 特別に設計されたキャンピングカー専用キャブ付きシャーシの上に製造されたもの。 | |
| | | クラスB | バンシャーシのボディを改造して製造されたもの。 | |
| | バンコンバージョン | バンコンバージョン | レクリエーションやキャンピング、旅行での活用を主目的として、コーチビルダーによりバンシャーシを改造して製造された車両で、上記「クラスB」以外のもの。 | |
| | トラックキャンパー | トラックキャンパー | レクリエーションやキャンピング、旅行での活用を主目的として、トラックの荷台に積載できるよう製造されたもの。 | |
| けん引式RV | **キャンピングトレーラー** | **パークトレーラー**<br>トレーラーハウス | けん引車の後端部に備えられたけん引装置（ボールヒッチ）によってけん引され、外観が通常の家に類似したもの但し、工場生産型で床面積400スクエアーフィート（37.16㎡）を超えるものは含まない。 | |
| | レクリエーションやキャンピング、旅行での活用を主目的として、長期の滞在が可能な設備を有し、けん引式シャーシの上に製造された車両 | フィフスホィール | けん引車の後部荷台に備えられたけん引装置（フィフスホイール）によってけん引されるもの。 | |
| | | トラベルトレーラ | けん引車の後端部に備えられたけん引装置（ボールヒッチ）によってけん引されるもの。 | |
| | | フォールディング・キャンピングトレーラ | トレーラーの中で折り畳み式構造を持つキャンピングトレーラーをいう。 | |
| | カーゴトレーラー | カーゴトレーラー | レクリエーションやキャンピング、旅行のための荷物を積載することを主目的として、けん引式シャーシの上に製造された車両。 | |
| | ボートトレーラー | ボートトレーラー | レクリエーションのためのプレジャーボートを積載するための専用の荷台と、固定するための構造や装置を有し、けん引式シャーシの上に製造された車両。 | |

資料　日本RV輸入協会（定款）別表より

# おためし移住による定住人口増加

## キャンプ場等・遊休地をRVパークにする「明るく楽しい場所作り」

**米国型　RVパーク1,000台規模**

**2000～3000人収容**

●RVパーク17,000(1997) ⇒20,000ヶ所(2008)増加中

※自然災害等が発生すると被災者のための施設等として活用。

●マスコットがいたり自然環境を楽しむ、運営システムがあります。

National Association of RV Parks & Campgrounds （National ARVC）

# 地域の活性のためにRVパーク　⇒「災害害発生時被災地へ」

野球を趣味としたｸﾞﾙｰﾌﾟ
運営はｸﾞﾙｰﾌﾟで行う

**RVパークは300台～1000台規模**
**全米で20,000ヶ所＝500万台以上**

釣りを趣味としたｸﾞﾙｰﾌﾟ
運営はｸﾞﾙｰﾌﾟで行う

# 全国各地での活用紹介(自治体や公共的な活用)

●各地の自治体で活性化のために「河川沿いのスポーツ施設」「大型イベント店舗」「農地での住まい」
　　「駅前公園での地産地商品販売店舗」他多数、活用頂いております。
●首都直下型地震に備え「総合防災対策研究プロジェクト」としてH26年から試験活用も始まりまった。

福島県「せせらぎ公園キャンプ場」
山は「会津磐梯山」

会津美里公社のイベント
移動して展示会に参加した。

長野県(農業支援、若者の集会所)
農地でも、交流する場所は必要

東京都(スポーツ施設)

長野県塩尻市(駅前観光案内センター) 駅前ロータリー

# 全国各地での活用紹介（自治体や公共的な活用２）

北海道ニセコ開発（スキー客待合室）
早着到着者の待合室（休憩所）

気仙沼市社会福祉協議会
ボランティアセンターとして活用⇒市内の店舗

小児科（長野県） 公営団地の駐車場利用

助産院（神奈川県）出産の多い時期だけ活用

# 河口湖RVパーク「交流人口増を目指す」

## 全国（４７都道府県）ＲＶパークproject

URBAN Camp

**平成27年11月開業「(社) JOIN・内閣府防災後援」**

---

**移住交流による地域の活性＝レクレーションコンテンツ**
**広域防災につながる国土強靭化＝レスキューコンテンツ**
**全国ネットワーク化で強い町、明るく強い国へ！**

～自然暮らし体験村～
清水国明の森と湖の楽園

企画・監修

# 河口湖RVパーク「交流人口増を目指す」

## 平成27年11月オープン「JOIN・内閣府防災後援」

**年間　5,000泊予定**

**H26年　3,800泊実績**

# 災害発生時の活用（米国～日本国内）

## FEMA アメリカ合衆国連邦緊急事態管理庁
(Federal Emergency Management Agency of the United States)

## 災害時の仮設住居としても
## トレーラーハウスが活用されています。

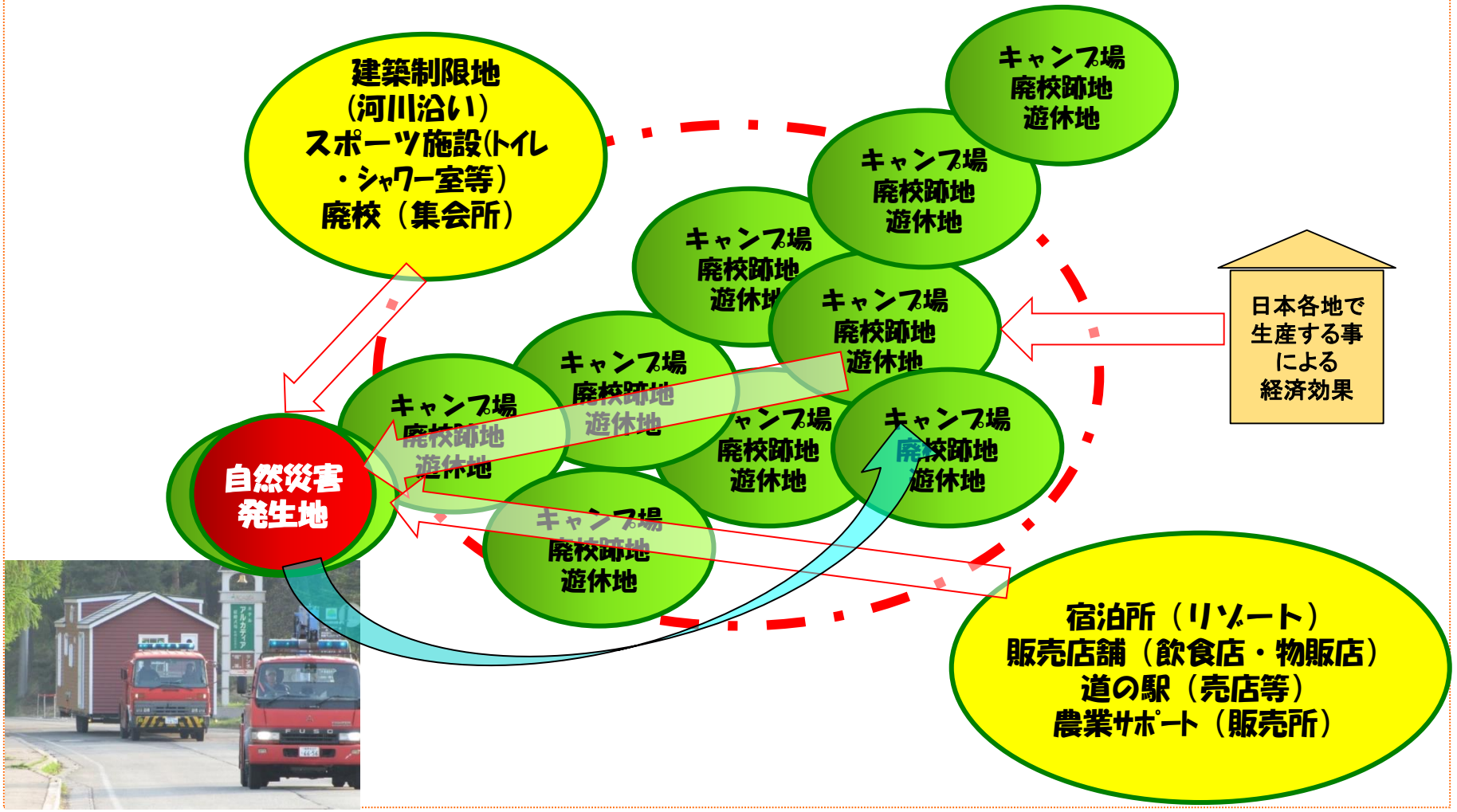
2005年8月末、アメリカ合衆国南東部を襲った大型のハリケーン カトリーナ。
多くの尊い命が奪われ、家屋が倒壊・水没するなど、甚大な被害をもたらしました。
その際、住む場所を失った被災者の仮設住居として多く利用されたのが、
移動・設置が容易なトレーラーハウスでした。

**FEMAとは…**

FEMAは、洪水、ハリケーン、地震および原子力災害を含む、その他の災害に際して、連邦機関、州政府、その他の地元機関の業務を調整することを請け負っている。
また、家屋や工場の再建や企業活動・行政活動の復旧にあたって、資金面からの支援を行う。

# 移動式だからできる瞬時に集めて支援 ⇒ 元に戻して再利用

災害発生直後から活用可能「外部から来た人達や地元での集会所・飲食店舗等」
海外では外部から持ち込み復興と共に外部に戻す手段は実証されております。
米国のＦＥＭＡ（連邦緊急事態管理庁）の活用は有名です。
国内備蓄により可能なシステムであります。（米国の備蓄５００万台とも言われている。）



# 河口湖RVパーク10台設置

都会より集客
（12～4月）
宿泊所として
活用

熊本へ8台（5月～9月）

2カ月で納品

生産する事
による
経済効果

熊本県益城町内8台／30台中
・福祉避難所活用（快適環境）

# 熊本県益城町「福祉避難所」日本初

## 平成28年06月入居開始30台（40世帯）「7月10日開所」

災害発生時の活用

# 【モービルホーム（トレーラーハウス）被災地活用例】

## 1995年阪神淡路大震災～熊本地方大震災の被災地活用

阪神淡路大震災
自治体で活用（医療や集会所）、仮設店舗（自動車販売店事務所）等

新潟県中越沖地震
仮設の住宅、商店会の店舗・集会所、工場の事務所等

東北地方大震災
ボランティア受付、集会所、復興商店会マルシェ、漁業組合事務所、
子ども図書館、生涯学習室、旅館組合宿泊所、キャンプ場での宿泊施設、
ラーメン店・カフェ・弁当屋、レストラン、コンビニ、美容室、介護施設、
防災科研の研究所施設、産業技術研究所のオフグリット研究施設、他

熊本県熊本地方地震
ボランティア受付、集会所、「**福祉避難所**」

災害発生時広域での復旧活動に役に立つ事は海外や昨今の国内活用から実証されてます。　＊復旧スピードは2倍以上、コストは1／2です。

# 安心安全なトレーラーハウス活用

①、**建築基準法で言うトレーラーハウス**
平成9年3月(国交省住宅局通達　住指170号通達)

住宅として「随時かつ任意に移動できるように設置する事」

②、**道路運送車両法で言うトレーラ・ハウス**
平成24年12月(国交省自動車局通達　自技181号通達)

大型トレーラ・ハウスはブレーキ制動、最小回転半径、安定傾斜角等、
保安基準に適合する事
災害救助法の適応を受け高速道路の使用が許可「日本初(H28年4月26日)」
ネクスコ西日本「日本高速道路保有・債務返済機構」

③、安心安全な製品「建築基準に適合」＝「避難所活用（特定者）の安心」
２×４構造以上で製造された製品である。
「住宅・店舗・事務所」として身体的安全な規格
「吸気・換気・化学物質」が日本の基準に適合させる。
高断熱(100mm断熱以上)規格で省エネ住宅仕様もある

# 3.11からの研究と活用（H23年6月~H28年6月）

## 移動できるモバイルな空間として平時の活用　⇔　緊急時の活用

1　移動型住居⇒RVパーク、キャンプ場作り
内閣府防災（被災者支援金300万円H23年2月）、
JOIN（移住交流2地域居住に提案）

2.　移動型店舗⇒全国各地で活用
国交省中部整備局、自治体(葛飾区・江戸川区)、独）産業技術総合研究所、伊藤忠商事、全国市民協議会、
FC展開（道頓堀、マクドナルド、たい焼き等各社）、

3.　キャンプ場の活用＝RVパークの設置と同様に活用
財)日本オートキャンプ協会、NPO河口湖自然楽校、RVパーク（レスキュービークル）

4.　田舎暮らし（別荘感覚での活用）、地域の活性化、過疎化対策、スマートトレーラー
独）産業技術総合研究所見守り、伊藤忠商事ライフケア事業、全国市民協議会（コミュニティーカフェ）

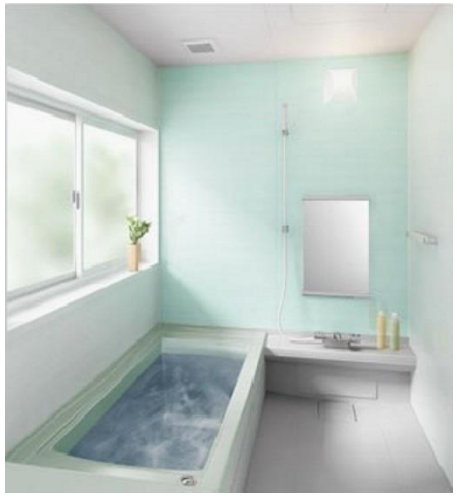
5.　災害発生時の活用と提案
内閣府防災（中央防災会議　H20年）、「福祉避難所　H28年」、（独）防災科学研究所（3．11）

6.　道の駅の活用⇒道の駅での活用及び備蓄（伊藤忠商事）

7.　大学等との研究（研究と運用）
東京大学、東北大学、法政大学、首都大学東京、つくば大学、千葉工業大学、明星大学、明海大学 、東京工芸大学
独）産総研コンソーシアム（ホンダ技研、帝人、伊藤忠商事、河口湖自然楽校、アクセンチュア、パナソニック、CTC
NATIONAL　INSTRUMENTS等）

# 安心の日本仕様で、新たな防災対策と定着人口増加を目指す
# 地元に新しい産業が育成できる！

1、ゆったりバス
2、シャワートイレ
3、畳部屋
4、床暖房
5、木の内装
（ヒノキ仕上）
6、ＩＨキッチン
7、瓦風屋根仕上
8、その他



# 移住交流人口増加と防災

## 遊休地の活用で定着人口増と新たな防災システム

## トレーラーハウスの活用

H２８年０９月２７日

ご清聴ありがとうございました。

一般社団法人

日本RV輸入協会

代表取理事　原田　英世